

【1. はじめに】

進捗状況報告書は、基本計画の数値目標や重点的に取り組む施策に関する取組指標の達成や施策の着実な推進のため、5項目の数値目標や6つの取組指標に対する実績及び、36の個別施策の進捗状況について取りまとめたものである。

なお、同報告書は、進捗状況の把握と併せて、現状を広く市民等に公表することにより、適正なチェック機能を働かせることも目的の1つとしており、堺市廃棄物減量等推進審議会での報告に加えて、同報告書と別途作成する概要版を配架等により広く市民に周知している。

【2. 基本計画の概要】

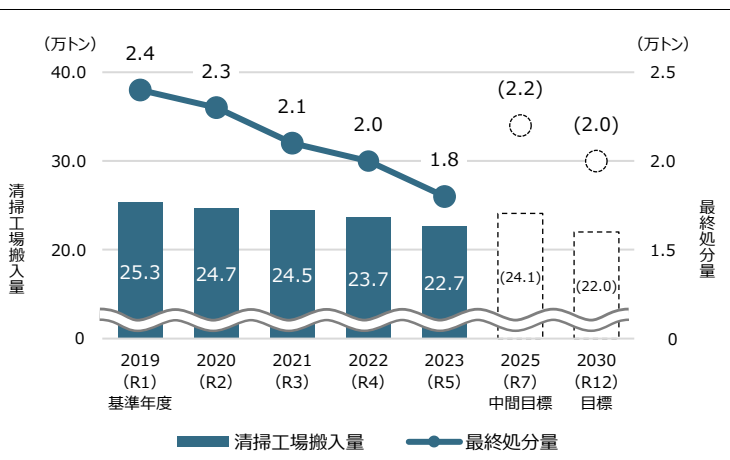
○ 基本理念
～ ともに取り組み、実現する。環境負荷の少ない「循環型のまち・堺」～

○ 基本方針
① 4Rのさらなる推進
② ごみに関わる多様な主体の連携・協働
③ 環境に配慮した安全・安心で安定的な処理体制の構築

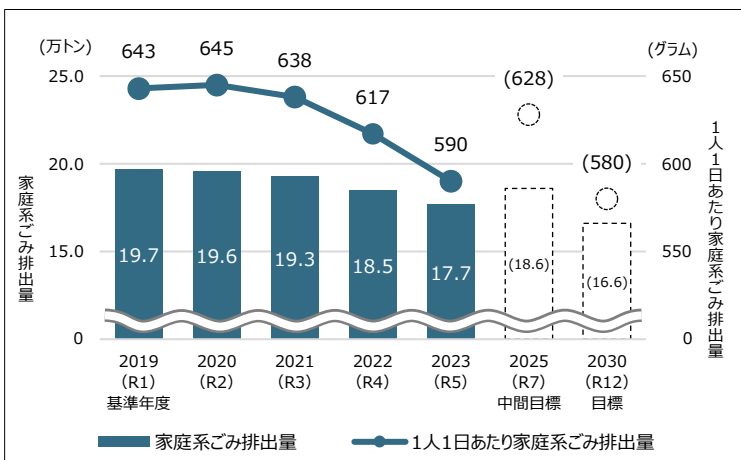
○ 計画期間
2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間

【3. 計画目標の達成状況】

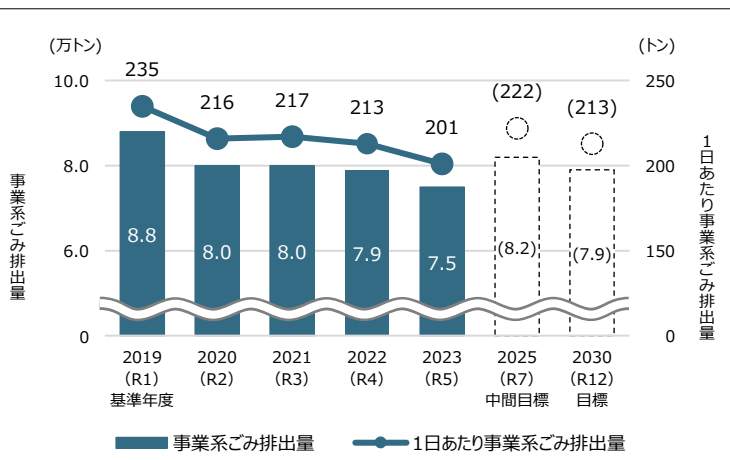
- ① 清掃工場搬入量は**22.7万トン**で前倒しで中間目標を達成している。
- ② 1人1日あたり家庭系ごみ排出量は**590グラム**で前倒しで中間目標を達成している。家庭系ごみ排出量は**17.7万トン**となり、**2019（令和元）年度より2.0万トン減少**している。
- ③ 1日あたり事業系ごみ排出量は**201トン**で前倒しで最終目標を達成している。事業系ごみ排出量も**7.5万トン**と減少傾向。
- ④ 分別まちがい率は**28.9%**と増加しており、中間目標まで6.2ポイント届いていない。
- ⑤ 最終処分量は**1.8万トン**で前倒しで最終目標を達成している。



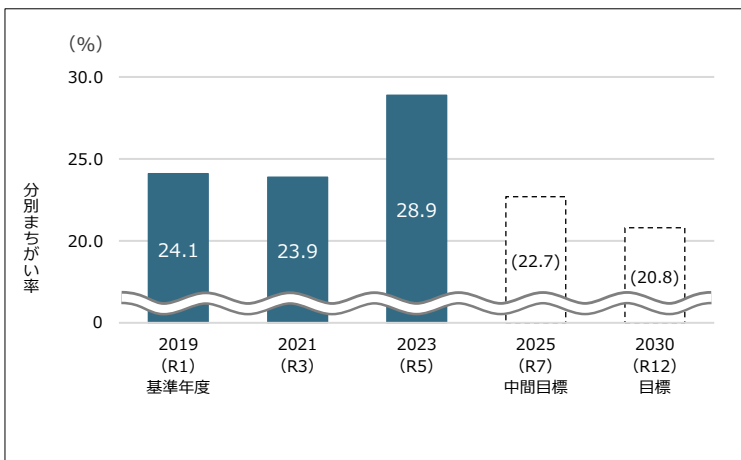
① 清掃工場搬入量・⑤ 最終処分量



② 1人1日あたり家庭系ごみ排出量



③ 1日あたり事業系ごみ排出量



④ 分別まちがい率（生活ごみ中のリサイクル可能なものの割合）

【4. 取組指標に対する達成状況】

重点的に取り組む施策に関する取組指標は、すべての項目において未達成である。

項目	2019 (R1)年度 (基準)	2021 (R3)年度 (実績)	2023 (R5)年度 (実績)	今後の 方向性	達成状況
生ごみに占める「手つかず食品」の割合	19.2%	19.2%	20.7%	低下	未達成
生活ごみに占めるリサイクル可能な「その他の古紙（雑がみ）」の割合	9.4%	8.1%	11.3%	低下	未達成
家庭系リサイクル率	16.6%	15.4%	14.7%	上昇	未達成
リサイクル率【事業系一般廃棄物減量等計画書の報告値を含めない場合】	17.3%	16.9%	16.7%	上昇	未達成
リサイクル率【事業系一般廃棄物減量等計画書の報告値を含める場合】	27.2% ※1	26.0% ※2	27.1% ※3	上昇	未達成
事業系一般廃棄物減量等計画書の ごみ排出量に占める「再資源化量」の割合	57.0% ※1	56.9% ※2	55.6% ※3	上昇	未達成

※1 2018（H30）年度実績 ※2 2020（R2）年度実績 ※3 2022（R4）年度実績

【5. 計画目標及び取組指標の総括】

○ 計画目標

- 5つの計画目標のうち、4つの項目について中間もしくは最終目標を達成し、ごみ排出量の削減が進んでいると言える。
- 一方、分別まちがい率は28.9%（2023（R5）年度）と、23.9%だった前回調査（2021（R3）年度）から5ポイント増加している。特にプラスチック類の生活ごみへの混入は10.9%と、前回調査から2.4ポイント増、紙類の生活ごみへの混入は15.7%と、前回調査から3.4ポイント増となり、適切な分別について市民への情報発信の強化が必要である。

○ 取組指標

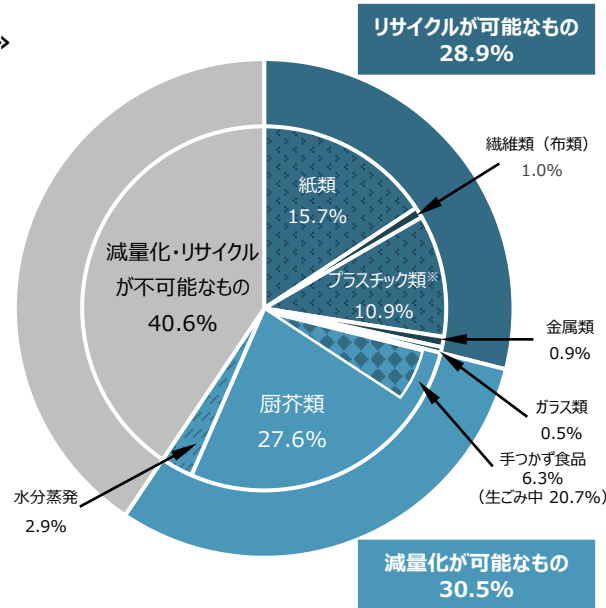
- 取組指標については全て未達成であるものの、2023（R5）年度に実施した「ごみの減量化・リサイクルに関する市民意識調査」からは、市民のごみ減量の意識が高まっていることが窺える。リサイクル率は低下しているが、「堺・ごみ減量4R大作戦」などの取り組み（資料4裏面参照）により、リサイクルよりも前の段階であるリフューズ、リデュース、リユースにより全体のごみ量が減少し、目標達成に繋がったものとする。
- 生ごみに占める「手つかず食品」の割合は増加しているが、重量ベースでの推計値と比較すると、2023（R5）年度は2021（R3）年度より減少しており、本市の食品ロスを含む生ごみの削減に関する取組について、一定の効果があったものとする。

＜参考 生活ごみ組成分析調査の結果について（2023（R5）年度）＞

- 生活ごみの中に、手つかずの食品や食べ残しなど減量化が可能なものが30.5%、リサイクル可能なものが28.9%含まれている。
- 2021（R3）年度と比較した結果、厨芥類や繊維類（布類）の割合が減少し、紙類やプラスチック類※の割合が増加している。

項目	2021 (R3)年度		2023 (R5)年度	
	割合	推計重量	割合	推計重量
厨芥類	28.9%	46,522 t	27.6%	41,530 t
内、手つかず食品	6.15%	9,223 t	6.3%	8,736 t
紙類	12.3%	18,446 t	15.7%	21,770 t
プラスチック類※	8.5%	12,748 t	10.9%	15,115 t
繊維類（布類）	1.8%	2,700 t	1.0%	1,387 t

※ペットボトルを含む。



【6. 個別施策の進捗管理】 ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する施策の成果を評価するために、36の個別施策シートを用いて、毎年度の進捗管理を行う。また、基本計画では重点的に取り組む施策を5つ選定している。

【重点施策①】食品ロスを含む家庭系生ごみの削減

施策		主な取組	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2023年度（R5）主な実施内容	2024年度（R6）目標
家庭系生ごみの減量対策の実施	「生ごみの水切り」の推進			実施		継続的に実施		・市ホームページ、Twitter等に生ごみの水切りに関する情報発信の実施 ・4Rアドバイザーを活用した生きごみさん講習会、情報交換会、出前講座の実施 ・「生きごみさん」スターターキット窓口配布を実施（計92人）	・生ごみ排出時の水きり促進に関する記事をSNSへ掲載 ・過去にブース出店実績がないイベントへ参加し、「生きごみさん」を啓発
	生ごみの減量に関する情報発信強化			実施		継続的に実施			
	新たな生ごみ減量施策の検討・実施			調査	検討		実施		
	「生きごみさん」普及促進			実施		継続的に実施			
食品ロスの削減	食品ロス削減に関する情報発信強化			実施		継続的に実施		・食品ロスダイアリーの実施（小学生1,268人、一般公募51人） ・食品ロスに関する出前講座を実施 ・エコショップ登録店舗の拡大（1店舗増加） ・エコレシピコンテストの実施（一般部門・高校部門）	・フードシェアリングサービスの情報発信強化 ・エコショップ登録店舗の拡大（3店舗増） ・食品ロスダイアリーの利用促進（一般公募150人） ・エコレシピを料理サイトに掲載 ・食品ロス削減推進サポーター育成オンライン講座の受講促進（講座受講団体10団体）
	「エコショップ制度」の拡充			実施		継続的に実施			

【重点施策②】家庭系古紙類の回収強化

施策		主な取組	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2023年度（R5）主な実施内容	2024年度（R6）目標
集団回収の更なる促進	集団回収未実施地域の解消			実施		継続的に実施		・集団回収未実施地域把握のため資料調査等を開始 ・「その他の古紙」回収促進団体を募集し、応募団体に「その他の古紙回収体験袋」等のスタートグッズを配布	・集団回収未実施地域把握に向け、確認作業を実施 ・「その他の古紙回収体験袋」等を活用した「その他の古紙」の分別・回収強化 ・集団回収報償金申請手続きのICT化について検討
	「その他の古紙」の更なる分別・回収			実施	検証	更なる回収促進			
	集団回収の継続実施に向けた取組の推進			実施		継続的に実施			
新たな古紙回収体制の構築	古紙回収体制（分別収集／拠点回収）の新たな構築			調査・検討			構築	・「古紙回収保管庫設置補助金」を創設、補助金の活用による古紙回収拠点の設置を勧奨 ・民間事業者による古紙回収拠点の設置（2拠点） ・市内の古紙取扱事業所及び民間の古紙回収拠点を市ホームページで紹介	・民間事業者による古紙回収拠点の設置支援（5拠点増） ・移動式古紙回収拠点導入の検討 ・古紙回収を行うエコショップ登録店舗の拡大（1店舗増）
	民間事業者との連携			実施		継続的に実施			
	「エコショップ制度」の拡充			実施		継続的に実施			

【重点施策③】ごみと資源の分別徹底

施策		主な取組	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2023年度（R5）主な実施内容	2024年度（R6）目標
未分別ごみに対する指導強化	生活ごみ等の適正排出率向上に向けた指導強化・情報発信			実施		継続的に実施		・ごみ分別アプリにチャットボットシステムとWEB版を導入 ・集合住宅への啓発チラシを配布：23棟 ・ワンルームマンションを対象としたペットボトルの適正排出のポスター掲示	・改善された戸建て住宅のペットボトル残渣率の定着と集合住宅における適正排出指導の実施 ・プラスチック製容器包装の分別と小型充電電池の適正排出の周知 ・不適正排出が是正されない集合住宅に関して、所有者・管理会社への直接指導の実施
	集合住宅への指導強化			実施		継続的に実施			
未分別ごみに関する情報発信の強化	ごみと資源の分別徹底に向けた情報発信			実施		継続的に実施		・ごみの4R運動に関する出前講座の実施：70件（学校園：57件、一般：13件） ・ペットボトルのキャップとラベルをはずしてキャンペーンの実施 ・改訂版「資源とごみの分別大辞典」の配布と、市ホームページに「資源とごみの分別大辞典」を6か国語で公開	・生活ごみに排出されるリサイクル可能な資源の割合（分別まちがい率）：23.0％ ・X（旧Twitter）等で分別方法の情報発信を実施 ・ペットボトルのキャップとラベルをはずしてキャンペーンの実施
	自治会等への情報発信			実施		継続的に実施			
	「資源とごみの分別大辞典」の見直し			実施		随時配布			

【重点施策④】事業系ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信

施策		主な取組	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2023年度（R5）主な実施内容	2024年度（R6）目標
事業系ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信	事業系ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信			実施		継続的に実施		・事業系ごみ減量情報紙「堺ムーSTYLE」を堺商工会議所報（約6,000社）へ掲載及び、「さかいIPC経営支援メールマガジン」（1,200社）、「堺伝産応援メルマガ」（350社）、「サポーター企業向けメルマガ」（約1,100社）で配信 ・事業系古紙リサイクルセミナーを8月に実施（124事業者163名が参加）	・市ホームページや事業系ごみ減量情報紙「堺ムーSTYLE」を用いて、ごみ減量化・リサイクルの情報発信を実施 ・優良事業所の表彰制度の検討
	少量排出事業者に対する情報発信の強化			実施		継続的に実施			
	優良事業所の表彰制度構築			調査		検討、制度構築			

【重点施策⑤】事業系一般廃棄物リサイクル体制の整備

施策		主な取組	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2023年度（R5）主な実施内容	2024年度（R6）目標
大阪府エコタウンプランとの連携による処理体制の確保	大阪府エコタウンプランとの連携によるリサイクル体制の確保		実施		処理体制	維持		・民間再資源化事業者数：2者 ・エコタウン内の民間再資源化事業者への訪問調査を実施 ・大規模建築物事業者への訪問時にエコタウン内の民間再資源化事業者を案内	・エコタウン内の民間再資源化事業者への訪問調査実施 ・大規模建築物事業者への訪問時にエコタウン内の民間再資源化事業者を案内
	エコタウン活用の促進			実施		継続的に実施			
民間再資源化事業者との連携強化	民間再資源化事業者との連携		実施	調査	積極的な案内継続			・大規模建築物事業者の訪問時にエコタウン内の民間再資源化事業者を案内	・大規模建築物事業者の訪問時での案内の継続
	民間再資源化事業者の活用に向けた情報発信			実施		継続的に実施			